

平成30年度 学校運営に関する評価書

学校名	和歌山市立東山東学校
作成日	平成31年3月11日

1 教育目標

生きる力をはぐくみ、心身ともに健やかで、明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を持つ子どもの育成。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心・健康な体	確かな学力
指標	○学校の様子がよく伝わった(保護者75%) ○地域とかかわった実践を全学級で実践する。 ○ホームページ閲覧数年間1万カウント	○学校が楽しい(児童90%) ○いじめの解消率100% ○新体力テストで全国平均を上回る。	○全国学力・学習状況調査においてすべての教科で県平均を上回る。 ○県学習到達度調査ですべての教科、学年で県平均を上回る。 ○わかる授業、児童が主体的に取り組む(児童80%)
重点目標に対する意見	○地域の方々を招いての取り組みは、評価できるものであり、目標も適切である。 ○学校の様子を知る手立てを考えている。	○子ども達の心身を鍛えることは「ゆたかな心・健康な体」の育成にとって、重要であると考えられる。学校の教育活動全体を通して行う事は、大変良い事である。	○基礎学力の定着とともに、これからは主体的に判断し、問題解決していく力が必要になってくると考えられる。
取組の状況に対する意見	○学校として、様々な方に学校にきて頂き、いろいろな体験を子どもにさせるのは非常に良い事である。 ○準備の時間を大切にし、良い活動ができた。良い形で取り組んでいる。子供たちは恵まれている。	○運動会の様子を見ていたが、どの子も一生懸命頑張っている姿が見られ、心身の成長を感じた。 ○本校の縦割り活動は良い取り組みだと感じている。	○自主学習ノートや主体的に考える場の設定など、児童が自ら取り組める環境を作っていくことは大切なことである。
検証結果に対する意見	○今後も地域の方々に来て頂き、子ども達に様々な体験をさせて欲しい。 ○交流授業等について、計画性を大事にして進められたことがよかった。 ○情報公開についてHPが充実したが、今後はSNSの活用も視野に入れるとより広く情報が伝わる。ただし個人情報やセキュリティ面で難しい面もある。	○SNSやインターネットが普及している現状から、情報モラルや情報機器との付き合い方について意識を持つことは大切。講演・講習会等の意識喚起する場を設けることが大事。	○「うちどく」の表彰などに影響を受けて、それを目標にしながら読書に親しむ児童が増えたことはうれしいことである。
改善方法に向けての意見	○授業時間を確保しながら良い交流を進めていくには計画性や準備時間が大切。これからも本年度の方針を進めていってほしい。	○子ども達の心身の健全育成のために来年度も様々な活動や取り組みを積極的に行ってもらいたい。	○「うちどく」について上記のことをうれしく思うとともに、今後はそれをきっかけとし、読書本来の楽しさに気づき、読書に親しむ児童が増えていってほしい。

3 その他のご意見

○学校施設や通学路等について環境整備に今後も努めていただきたい。